

6月
議会

湖城のぶこ 議会質問より

スマートフォンやパソコンを活用した
「いじめ・自殺相談」で 子どもたちの命を
守る取り組みを

質問

子どもたちのいじめや自殺相談
の現状は

答弁

29年度のいじめに関する相談件数は
小学校14件、中学校17件、教育相談
所3件、自殺相談は小学校1件、中
学校6件。担任や他の教員、養護教諭、
スクールカウンセラー等複数で情報共
有している。

質問

今年度から実施される SOS の
出し方授業について伺う

答弁

都から配布された指導資料や付属
のワークシートを活用して自分や
友達がつらい気持ちになったとき
それを軽くするためどのようなことを
しているか自分の考えを書いたり、
グループで交流したりしている

質問

若者のコミュニケーションは SNS に
移行してきている。

相談しやすい方法の観点からも、
いじめの早期発見のための
通報アプリ「stop it」の導入を
してはどうか

答弁

今後、先進市の取り組みについて
情報を収集し、効果等を検証して対
応を図っていく

ひとり親家庭への支援について

質問

課題と対応について伺う

答弁

経済的自立への支援については
きめ細やかな就労相談と、子どもの
居場所づくりへの取り組みが重要と
認識している

質問

就労支援に関する今後の取り組
みについて伺う

答弁

ハローワークとの連携強化に努め、
今年度中に共催事業を開催できるよう
進めていく

感震ブレーカーの設置について

質問

防災・減災の観点から必要性を
どう捉えているか。その上で設置
に対する費用の補助を行っては
どうか

答弁

適切に使用されることで、地震発生時
における出火の危険性の低減が期待
できるものと捉えている。国や都の動
向を注視すると共に他自治体の取り組
み等について情報収集を行っていく。